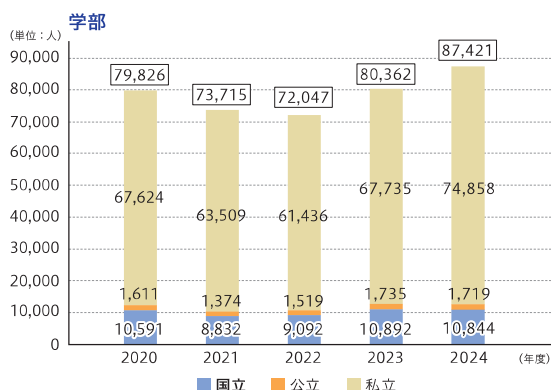


5. 国際化

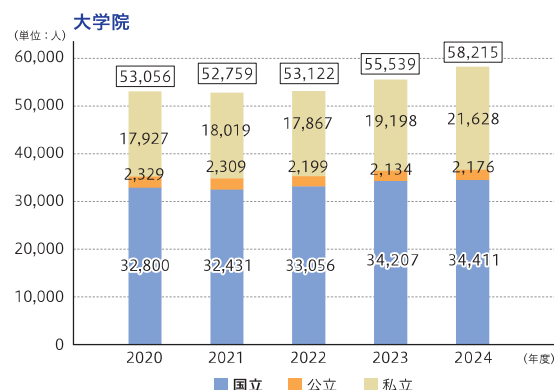
世界に開かれる国立大学の教育・研究

海外から、及び海外への留学生数は毎年増加し、特に大学院においては外国人留学生の6割以上を国立大学で受け入れており、新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた海外から、及び海外への留学生数は回復傾向にある(5-1、5-2)。一方で、海外拠点数は新型コロナウイルスの影響にあっても拠点数を維持した(5-3)。また、多くの研究者を受入・派遣しており、受入・派遣ともに5割以上を国立大学が占めている(5-4、5-5)。

5-1 海外からの留学生数

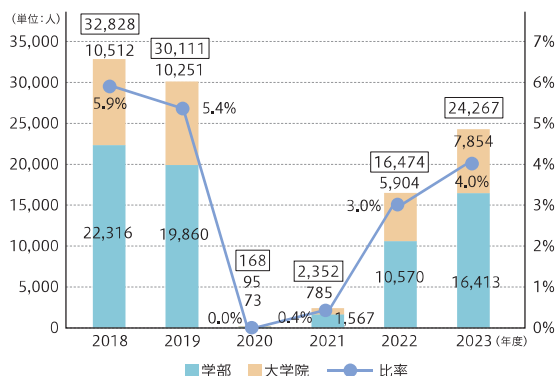


(出典) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年度)より国立大学協会事務局作成



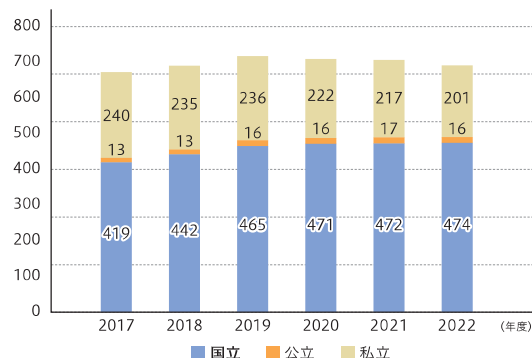
(出典) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」(各年度)より国立大学協会事務局作成

5-2 国立大学における海外への留学生数・比率



(注) 比率は海外留学生数(日本人学生に限る)の割合。分母は【同年5月1日時点の総学生数(国立大学協会調査)-外国人留学生数】
(出典) 国立大学協会「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」フォローアップ調査結果(各年度)より国立大学協会事務局作成

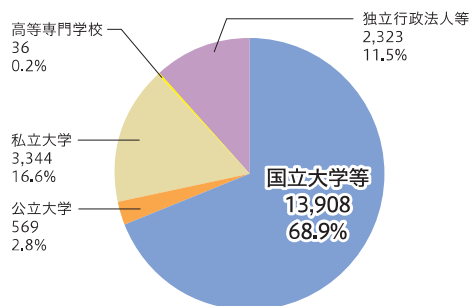
5-3 海外拠点数



(出典) 文部科学省「海外の大学との大学間交流協定、海外における拠点に関する調査結果」(隔年)より国立大学協会事務局作成

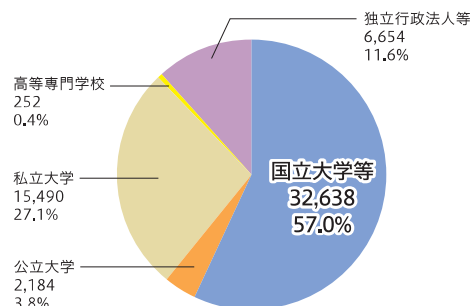
(注) 「拠点」とは、大学が海外において実施する現地大学との交流活動や共同で行う教育研究、留学生の募集、教員または研究者の招聘、及び教育事情の情報収集等を目的として設置する事務所等の施設を指す。なお、大学設置基準第58条又は大学院設置基準第45条に基づき設置される学部、学科、研究科、専攻、その他の組織についても対象に含む。

5-4 海外からの受入研究者数



(注1) 2022年度の調査結果
(注2) 短期・中期・長期派遣の合計数
(注3) 割合については、値を四捨五入しているため、各区分の合計が100%にならない場合がある
(出典) 文部科学省「研究者の交流に関する調査報告書」(令和4年度)より国立大学協会事務局作成

5-5 海外への派遣研究者数



(注1) 2022年度の調査結果
(注2) 短期・中期・長期受入の合計数
(出典) 文部科学省「研究者の交流に関する調査報告書」(令和4年度)より国立大学協会事務局作成